原山小学校跡地活用に関するアンケートの結果報告書

アンケート概要

〇 目的

本アンケートは、原山小学跡地活用協議会が同協議会委員会で検討してきた 跡地活用の方向性を地域住民に周知するとともに、跡地活用に関する住民の 意識や意見等を把握し今後の検討の参考にするため実施した。

〇 対象

原山台に居住する住民等(7丁目除く) 1,100世帯

〇 方法

各自治会(分譲住宅、県営2丁目、菱野住宅、菱野商店街)を通じて全世帯にアンケート用紙を配布し、Webフォーム又は回答用紙で回答してもらった。

〇 実施期間

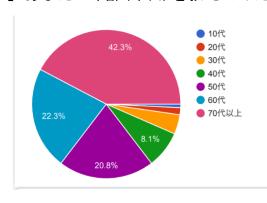
令和5年9月24日~10月30日

〇 回答者数

261 人(Web フォーム 35 人、回答用紙 226 人)

回答結果

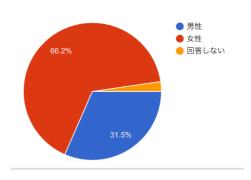
【問1】あなたの年齢(年代)を教えてください。



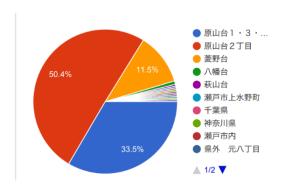
70代以上(42.3%)が最も多く、次いで60代(22.3%)、50代(20.8%)の順になっている。

【問2】あなたの性別を教えてください。

女性は66.2%、男性は31.5%であった。



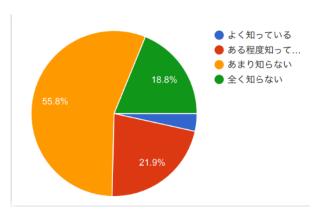
【問3】 あなたのお住まいの地区を教えてください。



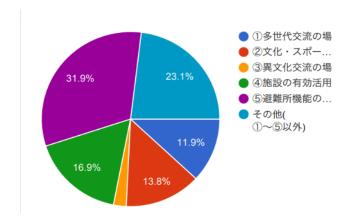
2丁目(50.4%)が最も多く、次いで 分譲住宅(33.5%)、菱野住宅・菱野 商店街(11.5%)の順になっている。

【問4】あなたは跡地活用の状況や本協議会の活動をどれくらい知っていま すか。

「あまり知らない」(55.8%)が最も多く、次いで「ある程度知っている」(21.9%)、「全く知らない」(18.8%)の順になっている。知らない理由は、主に「関心がない」、「情報が不足している」であった。



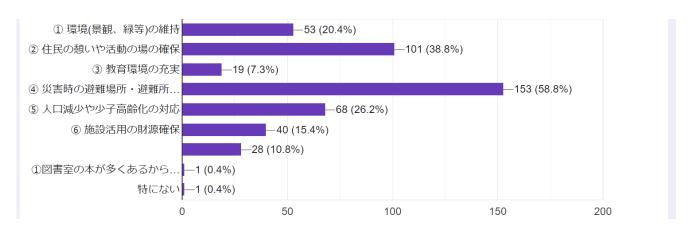
【問5】あなたは跡地活用の方向性でどの項目が最も大切だと思いますか (ひとつ選択)



⑤避難所機能の維持(31.9%)が最も多く、主な理由は「団地なので人が多く 災害時の避難場所が必要であると思う」、「他に避難所がないから」であった。 次いで、④施設の有効活用(16.9%)が多く、主な理由は「今あるものを使うのは 時代の流れに適っていると思うから」、「莫大な予算を使って作り直すのは不可 能だから」であった。続いて、②文化・スポーツ活動の場(13.8%)で、主な理 由は「地域の子どもたちや大人がスポーツを練習したりするのにいいと思った から」、「現在、集会所・公民館などで活動している方が使えるように施設を整えてほしいです」であった。続いて、①多世代交流の場(11.9%)で、主な理由は「教室がたくさんあるので多世代交流の場に使ったり、体育館と運動場があるのでそれを活かしてほしい」、「年齢問わず施設を利用できて活動できる場に整備してほしい」であった。

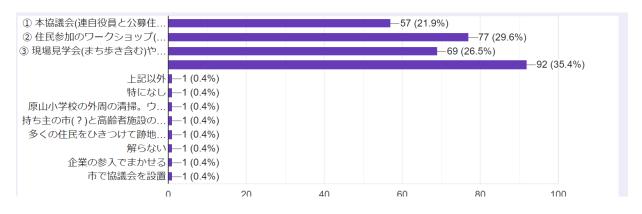
※⑥「その他」には、未回答分が加算されているため割合が多くなっている。

【問6】あなたは跡地活用を検討する上で大切だと思うことは何ですか (複数回答可)



④災害時の避難場所・避難所の確保(58.8%)が最も多く、次いで、②往民の憩いや活動の場の確保(38.8%)、⑤人口減少や少子高齢化の対応(26.2%)、⑥施設活用の財源確保(26.2%)の順であった。

【問7】あなたは今後の跡地活用の検討方法でよい(又は参加したい)と思う ものはどれですか(複数回答可)



③現場見学会(まち歩き含む)や先進地視察(60.6%)が最も多く、次いで、②住民参加のワークショップ(大学生との連携含む)(29.2%)、①本協議会(連自役員と公募市民)を中心とした議論(21.9%)の順であった。

【問8】跡地活用について、意見や活用案などありましたら自由にご記入ください。

全部で49件の意見があった。主なものは以下のとおり。

<公園・遊び場>

- ・公園としての利用(ボールを使用できて砂地の広い場所がなかなかなく、駐車場などで子どもたちが遊んでいる光景をよく見るため)。
- ・春日井市のグルッポふじとうの様な子供が安心して遊べる場になると、子連れ世代 が新たに居住しやすく安心して遊べる場にもなりいいと思います。
- ・遊具や人工物を造らず、樹木、芝生等自然を残すべきです。
- ・(運動場)大型の公園(南公園よりも遊具の充実) 大型にする事により災害時には遊具を活用してテントを張ることが出来ると聞きま す。学校内も災害に使えるようにする。
- ・団地の中に公園がもっと作っていただきたいです。団地に住んでいる子供の遊び場がないとかわいそうな感じがする。
- 桜の木は残してほしい。

<文化・スポーツ活動>

- ・年寄りでも、安心して、楽に楽しんで活動できる場所にしてほしい。ピアノ、ヨガ 合唱、書道、大正琴、卓球、バドミントンなど、原山台の人が講師になって活動し てほしい。学校にはピアノや楽器、体育で使っていた器具があるので。講師は一人 にお願いするのではなく、沢山の方に声をかけてほしい。原山台には出来る方が沢 山いらっしゃるので。少なくてもいいので必ず講師料を払い、責任をもった活動が できれば続くと思う。皆んなで盛り上げてほしい。
- ・外国人児童生徒のための日本語教室を土日に開催できるようにしてあげてほしい。
- ・地域住民が自主的に催事に使用できる場を提供できるとよい(例 自主サークル、習い事で利用、バザー不用品の交換会、個人の作品などの展示即売など。ただし、運営に必要な経費負担は主催する個人、グループが負担することも考える)。
- ・避難所として充実させ、グランドが少ないので市民がサッカー等、体育館ではバスケット等ができると良い。そして、プールもないのでプールが使える様にして欲しい。

<小学校の歴史>

- ・原山小学校の歴史を展示するスペースが少し作ってもらえたら嬉しいと思います。
- ・学び育った場所が、これからも教育、文化、スポーツに有効活用されることを望み ます。

- ・子供がお世話になった小学校(母校)がなくなるのは寂しいけど、今後は多世代交流、地域の皆さんがいつでも気軽に利用できる場をもうけてほしいです。
- ・原山小学校の開校時の1年生でした。プールも体育館も何もありませんでした。 せっかく有るのだから、子供から年配の方までみなさんに利用して欲しいです。

<宿泊・起業施設>

- ・教室を生かした宿泊施設に以前泊った事があります。そこは海が近いという魅力がありました。原山小学校は、モリコロに来る人達が泊まれるといいかもしれませんね。。
- ・民泊施設やカルチャーセンター的な役割、起業希望者向けオフィスなど。
- ・そのまま公園にするかジブリパークのお客さん用宿泊施設にするのが妥当だと思 う。キャンプ場にするのも。

<若い人たちのため>

- ・将来ある若者、子ども達の為に重きを置いて考えて欲しい。高齢になる人もそれ を支え観てエネルギーをもらう事も出来ると思う。
- ・小学生、中学生、高校生などの児童、生徒やその親世代など、これから先原山台 に住む若い人達の意見を聞けると良い。
- ・原山台に 50 年以上住む人たちの意見も貴重ですが、これからこの地区で生活していく若い人たちにとり、この場所が魅力的に活用、転用できればと思います。若いやる気のある人達の参加を希望します。若くなくてもその気があれば何かできますよね。楽しいお店、一寸立ち寄りたくなるお店も便利でうれしいかも。
- ・若い人が移り住む場所として活用する。

<高齢者のため>

- ・団地は高齢者だらけです。その方々の終の場になればと思います。
- ・本当なら大きく改造なり壊して新築が理想だが、はやい実現は予算の件で不可能 なら経費を少なくして高齢者、住民全体の交流施設、又は高齢居住施設に変わっ ていくと良いと思う。団地住民の高齢化は喫緊の課題だから。
- ・建物は老朽化しておりそのまま使うのは?老人施設など民間の力を借りる事を検 討する事も考えに入れては?

くその他>

・なにもないほうが、迷惑駐車を減らすことが出来ると思います。目的地を作って

しまうと車の迷惑駐車が増えて、近隣の人たちが駐車場代を払わず路上駐車する 確率が上がりそう。迷惑駐車が増えると、駐車場代を払ってきちんと駐車してい るのが嫌になります。

- ・費用を注ぎ込んで立派な物を作るだけ作ったが、利用者がおらず宝の持ち腐れ、 にはして欲しくない。と言うか、してはいけない。
- ・誰かが得をするのではなく、平等に楽しめる場所を作って下さい。

【総括】

原山小学校跡地活用協議会では、これまで連合自治会執行部員で構成する 役員会や公募住民も含めた委員会を中心に跡地活用に関する議論を進めて きました。その結果、5項目の活用の方向性を定め今回のアンケートで住 民のみなさんにその内容を周知するとともに、意向や意見を伺うことにな りました。まずは、多くのみなさんから回答をいただいたことにお礼を申 し上げます。

さて、アンケート結果からは以下の点を確認しました。

- ①跡地活用の方向性は、5項目のうち4項目が一定の割合で選択されておりほぼ了承された。
 - ※「異文化交流の場」は択一式回答のため割合が低かった。
- ②跡地活用を検討する上では、「災害時の避難場所・避難所の確保」が 必須であり、「住民の憩いや活動の場の確保」を望む声も多かった。
- ③今後の跡地活用の検討方法では、「現場見学」や「住民参加のワークショップ」を望む声が多かった。
- ④自由意見では、項目を分類し整理してみると多種多様で有意義な意見や提案が多くあった。
- ⑤一方、当協議会の活動の認知度が低くいっそうの広報・啓発活動が 必要であると認識した。

当協議会では、今後もアンケート結果を参考にしつつ跡地活用の提案の協議を進めていきます。住民のみなさんのいっそうのご理解、ご協力をお願いします。